

# なかしゅんべつ

2011

4

No.399



## 目次

竹田國男氏宇都宮賞を受賞 2~3	酪農体験レポート… 12~13
中春別小学校・中学校卒業式 4~5	わが家のアイドル…………… 14
青年部のページ…………… 6~7	労災事故防止…………… 16
女性部のページ…………… 8~9	生乳課情報…………… 17
営農対策情報…………… 10	ミルククッキング…………… 19
根室地区JA温泉湯治…………… 11	理事会…………… 20

今月のアイドルは豊原地区の花岡さんです。  
元気いっぱいの明るいお宅にお邪魔しました。



# 地域で乳牛の質向上を目指し、 安定した酪農畜産経営に向けた 地域の酪農振興、地域振興に尽力



2011.08

## 竹田國男氏

第43回宇都宮賞(酪農指導の部)を受賞



財団法人宇都宮仙太郎翁顕彰会は翁の命日である3月1日、札幌市において第43回宇都宮賞表彰式を執り行い、当農協前組合長である竹田國男氏が同賞(酪農指導の部)を受賞されました。

産協会佐々木里土専務理事から、受賞された3人の方々の功績が紹介され、「これからの厳しさを増す内外酪農情勢のもとで、この荣誉ある受賞を契機に、今後とも本道酪農の振興により一層ご尽力いただきたい」と選

### たくさんの仲間達との 出会いが一生の財産

同賞は、北海道酪農業に関する故宇都宮仙太郎翁の業績を顕彰しつつ、継承される事を念願し、酪農経営・酪農指導・乳牛改良の各部において、顕著な成績を上げた功績者を表彰するものであります。

式典では同賞選考委員会委員長である北海道酪農畜

考経過が報告されました。

その後、それぞれ受賞者が挨拶し、竹田氏は「根釧パイロットファームの入植者として多くの先輩、同志は一生の財産であり、この受賞は私の酪農人生最大の喜びです」と語りました。竹田氏の功績については次の通りです。



氏は、道立永山農業高校を卒業後、昭和35年根釧パイロットファーム開拓者として現在地に入植、当時は湿地等土地条件が悪く作物の収量が上がり、酪農專業化の目標達成には至らなかった。

昭和39年、この打開策として先ず乳牛の質の向上を図ることが先決と判断し、個人はもとより地域レベルの向上を目指して、根釧パイロットファームホルスタイン改良同志会を組織し、種雄牛の選定、優良牝牛の導入と普及、乳牛審査技術の養成に努め、「酪農王国・根室」を目指し、第1回管内ブラック&ホワイトショーを開催するなど、地域・農協が一体となって乳牛改良に意欲的に取り組み、その中心的役割を担った。

酪農経営における乳牛改良の重要性と同志の絆を重んじる姿勢は地域より高く評価され、北海道ホルスタイン農協理事に選任された後に副組合長2期6年務め、(株)ジャパンホルスタインブリーディングサービス取締役

副社長を15年の永きに亘り歴任した。その間家畜人工授精事業の国際化の進展に伴う環境変化に対応するとともに、家畜の改良・繁殖の向上による人工授精事業の体質強化を図るため、道内授精事業体の再編を推進し、平成13年には、(株)ジェネティクス北海道の設立に尽力された。

安定した酪農畜産経営に向け、経営の体質改善を基本としながら生産物の品質向上、経営コスト低減、経営管理・生産技術の向上を図るために、「活気と潤いに満ちたゆとりある中春別」をスローガンとした酪農畜産チャレンジ計画を樹立し、現在に至る当地域の酪農振興、地域振興に尽力をされた功績は大きい。

地域で培われた経験と実績そして活動は、全道レベルの農業団体組織役員としての重責を担う中で一層発揮され、特に酪農畜産関連の専門的な立場から全道を見据えた活動は、酪農畜産の発展と安定への推進を基軸としたものであり、北海

道農協酪農畜産対策本部

委員、ホクレン生乳受託販売委員、北海道酪農協会副会長、全国酪農業協同組合連合会理事、北海道チクレン農業協同組合連合会経営管理委員等要職に就き、酪農畜産政策の課題解決と実現に向け奔走し、BSE発生時において農家支援対策の基盤構築や、生乳生産に係る北海道酪農生産体制強化対策の推進、自給飼料を基礎とした生産基盤強化対策の推進等、多岐に渡る北海道酪農畜産の発展に多大なる貢献をされた。





中春別  
小学校卒業式



去る3月18日(金)中春別小学校で卒業式が行われました。

式の冒頭、菅原孝幸校長より「地震の被災者が笑顔を取り戻すように祈りたいと思います」と、東北地方太平洋沖地震の被災者に向け出席者全員が黙とうをささげました。

卒業生は男子9人、女子14人、計23人。在校生や先生に見守られる中、卒業証書を受け取り、それぞれのお父さん、お母さんに感謝の言葉とこれからの抱負とともに卒業証書を手渡しました。

在校生、卒業生お別れの言葉では、在校生から卒業生一人ひとりに向けた学校生活の思い出や感謝の言葉が送られ、合唱では6年間の思い出のある学校生活を振り返りながら、卒業生、在校生共に涙で上方を仰いだり、服の裾で顔を拭いながら歌っていました。

ご卒業おめでとうございます





中春別  
中学校卒業式



それぞれの想いを胸に学び舎を後に旅立ちました。



去る3月14日(月)中春別中学校で卒業式が行われました。在校生や先生、お父さん、お母さんに見守られる中、10人の卒業生が卒業証書を受け取りました。

在校生を代表して、竹田昌矢君より「3年生は体育祭、文化祭でリーダーシップを発揮し、僕たちを支えてくれました。その姿は、僕たちのあこがれであり、心に残っています。3年生との思い出、学んだことはこれからも記憶に残るでしょう。明るさ、努力家の3年生の先輩を見習い、中春別中学校のよりよい文化を引き継いでいきたいと思えます」と在校生を代表し、送辞が送られました。

卒業生答辞では、角田能基君より「体育祭、文化祭では責任の重さを知りました。3年間の中で一番楽しかった修学旅行では仲間との楽しい時間を過ごすことができました。3年間の中学校生活では仲間と互いに成長でき、困難に勇気をもって立ち向かえる力を培ってきました。在校生の皆さん、一生に一度の中学校生活を楽しんでください。そして、僕たちの担任をしてくれた福本先生、ありがとうございます。これからも応援してください」と3年間の思い出と在校生、先生、お父さんお母さんに感謝の気持ちが述べられました。

後には卒業生、在校生が向い合い、泣きたいたい気持ちを一生懸命抑えながら式歌を精一杯斉唱しました。

卒業生の皆さんおめでとございます。巣立ち行く一人ひとりの今後の飛躍を期待しています。



# 視察・研修で仲間との交流、 これからの仕事に活かしてほしい

青年部青年部会  
視察・研修会

3月10日(木)～11日(金)にかけて、青年部青年部会(小西祐司部会長)では、青年部会員11人、農協引率1人で視察・研修会を開催致しました。毎年行っています視察・研修会でありませんが、今年豊頃町にあります農事組合法人Jリード(井下英透代表理事)を視察して参りました。

牛を確保するまでになっています。また、平成20年12月より3回搾乳を行っており、今では6000tの乳量を出しています。搾乳は1度に40頭収容できるロータリーパーラーで行っており、1日17t程搾っています。また、搾乳時にカンファスイというものを牛の足元に撒いていて、これにより牛が滑らないようになり、殺菌効果も

当日は移動手段がレンタカーという事もあり、天気心配でしたが、みなさん日頃の行いが良いのか? 天気にも恵まれ、安心して出発することができました。

農事組合法人Jリードは、平成17年に結成し、結成当初、牛は約200頭でしたが、半年後には500頭まで確保しました。今では経産牛600頭、未経産牛411頭と、約1000頭近くの



良く、搾乳舎が清潔に保たれていました。牛舎移動の際にはもみ殻を撒くなど事故防止にも努めていました。また、昨年より70町程の畑を委託し、デントコーンも作っているとのことでした。今回の視察ではホクレンの飼料工場への視察に行く事が出来なかったのですが、Jリードで学んだ事、感じた事、仲間との交流などを今後の仕事や生活に活かしていただけだと思います。みなさんお疲れ様でした。

## お互い認めあい、対等な立場で 共同経営的な経営の実現を

豊原地区・紫藤 有策さん

### 家族経営協定調印式



3月18日、家族経営協定調印式が行われました。調印を行ったのは、豊原地区の紫藤有策さんで、立会人として農協から組合長、専務、農業委員からは加藤真純農業委員が参加されました。

業経営に参画しているという意識づけが強化され、協定を守ろうとする自覚を高めるために調印するものです。

同協定は、近代的な農業経営を図るために、家族一人ひとりの役割、就業条件、就業環境を明確にすることを目的とし、それを文書化し、第三者が立会人となり協定を結ぶことによって、家族が農業経営に参画しているという意識づけが強化され、協定を守ろうとする自覚を高めるために調印するものです。

当地区ではこれで12戸の農家が締結しました。家族経営協定の締結を機に、家族一人ひとりがお互いに個性と能力を認め合い、かけがえのない対等な仲間として営む共同経営的な経営の実現に取り組みれますよう期待します。



# 農林水産省での意見交換などで今の酪農情勢、TPP問題に取り組む知識を学びました



青年部では、金子琢哉副部長、野矢貴志監事の2人が1月31日(月)～2月2日(水)にかけて、JA根室地区青協幹部研修会に参加致しました。今回の研修では、根室地区青協より14人、事務局1人の計15人での参加とな

水産省の職員9人が対応し、2時間程の意見交換会を行いました。事前に勉強会を行っていた事もあり、内容の濃い意見交換会となりました。その日の夜には農水省、JA全中の職員との懇親会も行いました。2日目は有名なスカイツ



りました。1日目は東京に到着後、そのまま農林水産省へ。農林

り、雷門を視察した後、農業支援団体(パソナ)を視察してきました。パソナは東京丸の内ビルの中にあり、屋内で稲や野菜を育てていました。パソナ視察終了後、雪印乳業横浜チーズ工場を見学してきました。工場では様々なチーズを試食させていただきました。夜の懇親会では、伊藤良孝議員、長谷川岳議員との懇親会を開催しました。

最終日には衆議院第1議員会館を訪問し、浅野貴博議員、伊藤良孝議員を敬訪問しました。伊藤良孝議員の取り計らいでテレビなので良く拝見する予算委員会の傍聴をさせていただきました。今回の幹部研修では、非常にハードなスケジュールとなりましたが、普段では経験できない事を経験する事ができ、酪農情勢やTPP交渉問題などの知識が増え、非常に有益なものになりました。

## 「今日からできる乳質改善」技術的な事例を紹介

振興会3地区合同勉強会



3月17日(木)、団地センタートレーニング室で豊原振興会、美原振興会、中春別振興会で3地区合同



勉強会を開催いたしました。当日は43人の出席があり、根室農業改良普及センターから三宅裕子氏、

農協生乳課から中西課長を講師に招き、生乳課より乳質乳価の格付けについて、JA自主規制について、年間良質金・微収金のシュミレーション、平成22年度良質金・微収金を加味した乳質単価一覧表の説明があり、普及センターからは「今日からできる乳質改善」と題して、技術的な事例紹介が発表されました。参加された皆さんは熱心に説明を受けられました。



第37回  
女性部  
通常総会

多くの事業活動を計画し、  
女性の視点から経営に参画



女性部のページ

J A 中春別女性部の第37回の通常総会が3月8日、中春別農協団地センタートレーニング室で開かれ女性部28人が出席しました。

総会は畠山部長の挨拶から始まり、農協から小湊組合長、酪農対策協議会望月会長から祝辞をいただきました。

した。

議長には田中真由美さん、遠藤美奈子さんが選出され、平成22年度事業報告・収支決算、平成23年度事業計画(案)・収支予算(案)、会費賦課徴収、平成23年度活動方針などが可決承認されたほか、役員改選における新役員の選出が行われました。

23年度事業では引き続き自己スキルアップのための各勉強会・講習会、部員間の交流が出来る場の提供、また、女性からの視点で農業経営に参画していきたいと考えております。

新役員は次の通りです。

- 部長 畠山 友子さん
- 副部長 斉藤 道子さん
- 浮川 優子さん
- 理事 北澤真由美さん
- 佐藤 清美さん
- 西原 珠美さん
- 田中真由美さん
- 五十嵐ひとみさん
- 監事

女性部では加入者を募集しています

同じ酪農という仕事をもつ女性として、交流・意見交換できる仲間を女性部を通し見つけていただければと考えています。

やりたいことがある方、息抜きしたい方、新しい仲間がほしい方、自分にとって必要だと感じた行事に参加していただき充実した日々を過ごしていただくことを望んでおります。

加入に関する詳細は農協女性部事務局(TEL: 76-2241)へお気軽にご連絡ください。





# 各農協から女性部代議員が 集い、事業計画を承認

## JA根室地区女性協議会第55回通常総会

JA根室地区女性協議会の第55回通常総会が3月28日(月)、根室農業会館で開催され各農協から女性部代議員ら関係者が出席しました。総会では、平成22年度事業報告並びに収支決算、平成23年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の設定、平成23年度会費の賦課徴収法が、満場一致にて可決承認

されました。

また、役員改選は次の通りです。

- |     |       |        |
|-----|-------|--------|
| 会長  | 吉田ゆき子 | JA 標津  |
| 副会長 | 畠山 友子 | JA 中春別 |
|     | 金子ひろみ | JA 中標津 |
| 監事  | 小場 友子 | JA 標津  |
|     | 渡辺 広美 | JA 計根別 |

総会終了後、JA根室地区女性協議会幹部部員研修会が開催され、㈱アピサル・ジャパンから職立真理氏を講師に招き、「お砂糖のスキンケア」道産の甜菜は世界一」の講習会が行われました。



女性部のページ

# 良質サイレージで 生産コスト削減を

## 経営改善プロジェクト

経営改善プロジェクトでは、1月26日(水)にサイレージ調査を実施しました。



し、草丈状態(植生の改善)、今年のサイレージ収穫調整作業の進め方などについて、個別で協議を行いました。22年産のサイレージの分

当日は根室農業改良普及センターに協力していただき、選定した20戸の組合員のサイレージの調整状態について、踏圧・発酵品質・切断長・温度・カビの有無・サイロ開口部寸法などについて調査を実施いたしました。今回の調査結果を基に飼料給与の見直し



析結果は総対的に蛋白とTDNが低く繊維が多いため、食い込みは良くても消化速度が遅く、乳量に反映しないという傾向が見られます。サイレージの良し悪しで1年間の経営を左右すると言つても過言ではないことから、収穫作業の見直しも含め、検討が必要と思われまふ。また、23年度は飼料・肥料・資材などが値上がり傾向で推移する事が想定されますので、良質粗飼料を確保し、生産コストの削減に努めましょう。なお、飼料分析・土壌分析を希望される方は購買課生産資材係まで問い合わせ願います。



# 営農対策情報

根室農業改良普及センター

## 初乳の給与

子牛は様々な病原菌に対する免疫を持たない状態で生まれてきます。免疫グロブリン(IgG)が含まれる初乳を飲んで初めて病原菌に対する免疫を獲得します。子牛が免疫を獲得するためには、

- 一. 初乳の品質
- 二. 初乳の給与量
- 三. 給与までの時間

が重要になります。

### 一. 初乳の品質

①初乳の搾乳方法  
消毒液に浸したタオルで乳頭を丁寧に拭く、前搾りを各乳頭10回以上実施するなど通常の搾乳よりもひと手間かけてより衛生的に初乳を搾乳します。

また、すぐに給与しない場合は、フリーザーバッグなどに移し冷凍・冷蔵保存します。

フタもせずに貯留すると細菌が増殖します



写真1 初乳

②分娩後の搾乳回数とI g Gの関係

初乳は比重が大きいほど初乳中に含まれるI g G濃度が高くなります。分娩後1回目

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
1.059	1.037	1.031	1.031	1.031

の、2回目の以降のものとは比重が大きく異なります(写真2)。

分娩後最初に搾ったものをまじょう。

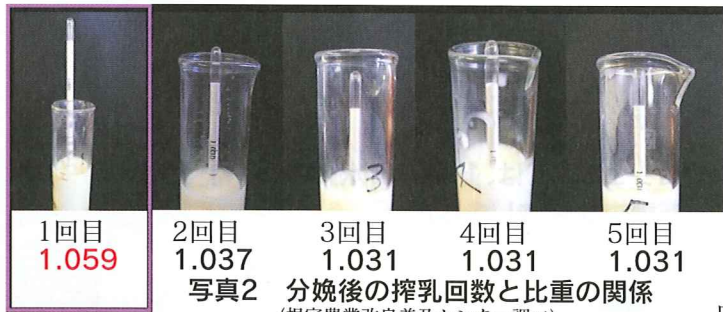


写真2 分娩後の搾乳回数と比重の関係 (根室農業改良普及センター調べ)

③初産牛と経産牛の違い

初乳に含まれるI g G濃度は初産より経産牛の方が高くなり、導入牛よりも昔からいる牛の初乳の方がその農場に適したI g Gを多く含んでいます。

しかし、経産牛の初乳でも乳量が多かったり漏乳したりすると、I g G濃度が低いこともあるため、比重計・糖度計を使って確認し品質

の良いものだけを初乳として給与しましょう。また、体細胞が高いものや血乳は使わず、凍結初乳や代用初乳を使いましょう。

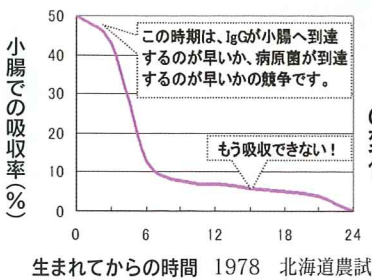
必要摂取量は100g以上と言われており、I g G濃度50mg/mlの初乳であれば、20以上給与する必要があります。

### 三. 給与までの時間

初乳中のI g Gは小腸から子牛体内へ吸収されますが、時間が経つほどに吸収率が低下し、24時間ほどで全く吸収できなくなります(図2)。

また、I g Gの吸収口が大腸菌などの細菌が入ると吸収口が閉じてその後I g Gが吸収できなくなります。分娩後できるだけ早く、遅くとも6時間以内に給与しましょう。

### 図2 I g Gの吸収率の変化



### 糖度計を使う場合

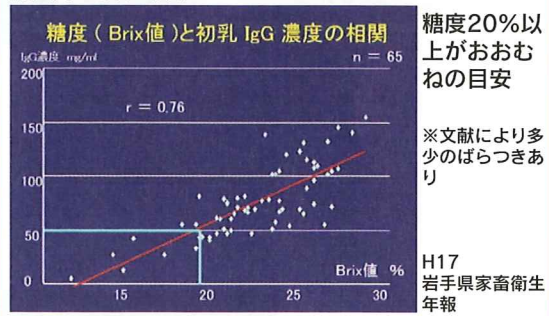


図1 糖度(Brix値)と初乳IgG濃度の相関の関係

### 比重計を使う場合



写真3 比重計

初乳の品質チェック法  
I g G濃度50mg/ml以上

乳温を40℃で比重1.047以上



根室地区

J A 温泉湯治

# カラオケにビンゴ大会と 大いにもりあがった2泊3日の温泉湯治



平成22年度根室地区温泉湯治が、1月20日から2泊3日の日程で川湯観光ホテルにて開催されました。今年は全体で43人が参加し、そのうち当JAからは7人の参加でした。

1日目は夕方ホテルに到着し、宴会までの時間はそれぞれ温泉に入ったり、部屋で休んだりして過ごしていました。そして、初日の宴会は参加者を代表して当JAの高橋昌晴さんの乾杯の挨拶で幕を開けました。宴会中には演歌歌手の藤和子さんによる歌謡ショーもあり、皆さん一緒に口ずさんだり、記念写真を撮ったりと大いに盛り上がりました。その後、引き続きビンゴ大会が行われました。最初はなかなかいい数字が出ず「ルーレットを回してる人がダメだ!」と事務局へクレームが入り、急遽参加者の方たちにルーレットストップのかけ声をしてもらうことに。すると、

徐々に「リーチ」の

声が増え、なんと1位には当JAの佐々木辰代さんがなり、賞品が当たりました。それから次々「ビンゴ」と元気な声が上がリ、賞品がなくなつたところで楽しい宴会は終了しました。

2日目はカラオケ教室と映画鑑賞が行われました。カラオケ教室は参加者の皆さんが歌い、1日目に歌謡ショーをしていただいた藤和子さんにアドバイスをもらっていました。「皆さん新しい曲にもどんどん挑戦していて素晴らしいですね」と感心していました。

映画鑑賞では中標津町で撮影された「釣りバカ日誌ファイナル」が上映されました。温泉湯治の前にテレビで放送されてしまい、見たばかりの方もいたようですが皆さん楽しんで鑑賞していました。この日の宴会ではカラオケ大会が行われ、皆さん緊張しながらも自慢の



歌声を披露されてきました。当JAからは佐々木茂成さんが出場し、お昼のカラオケ教室でも好評だった優しい歌声を聞かせてくれました。

カラオケ大会の最後には、審査員から選ばれた方に賞品が当たり、その他の方も参加賞を貰っていました。そして万歳三唱で宴会は終了しましたが、その後もそれぞれ最後の夜を楽しみました。

今年は全体的に例年より少ない参加者となりましたが、短い時間の中でゆつくりくつろいでいただけたと思います。来年も数多くの参加を楽しみにしています。





# 酪農体験レポート

3月10日から19日の10日間、東京動物専門学校生徒3人が北海道の自然に触れ、酪農体験をしました。実習生のレポートを紹介いたします。

## 「初めて」を体験



増田 美幸

私は、この研修を通して酪農という仕事をより深く知ることができました。毎日の搾乳やエサやり、エサ寄せ作業、糞かきなどどれも一つとして怠つてはいけな大切な仕事だと学びました。初めは、一つの作業を終わらせるのに時間も迷惑も掛けていました。ですが、少しずつ慣れていき短い時間で一人のできるようになりました。何も出来なかつた私を、少しでも成長させていた

き望月さんにとっても感謝しています。

そして研修を通して、皆さんの「初めて」を体験することができました。初めての北海道、たくさんの降り積もった雪、その上を自由に動き回る牛や野生動物はとても印象的でした。特に放牧された牛を見た事が無かつたので、伸び伸びとした姿を見ることが出来て更に牛が好きになりました。交流会を開いていただいたり、望月牧場のみなさんや農協の職員の方々、他牧場の農家さんの温かさに触れることができ牛だけでなく北海道が大好きになりました。たくさんの方にお世話になりました。本当に感謝の気持ちです。10日間という短い期間でしたが、とても楽しく過ごせました。



これからは、研修で学んだ事を活かして酪農ヘルパーになれるように努力をしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

## 酪農実習を終えて



市塚 美帆

私は酪農実習での10日間、様々なことを学び経験させていただきました。お世話になった高田牧場さんはフリーストール牛舎で、私は主に搾乳の補助や牛を搾乳

室へ入れる作業、餌寄せや仔牛の哺乳を行いました。作業中で印象に残っていることは、牛の異常に素早く気づき対応していた牧場の方々の姿と、牛が疾病にかからないための工夫です。特に乳房炎にならないため、日頃から清潔にするということの大切さを実感しました。その他にもロータリーパ



ラーや牛の削蹄を見学させていただいたり、交流会に参加させていただいたり毎日新鮮なことがばかりでした。キタキツネやエゾシカ、タンチョウと北海道の

動物たちにも遭遇することができ、充実した時間を過ごすことができました。最後に今回の実習でお世話になりました関係者の皆様、多くのことを学ばせていただきました。短い間でしたが、今後の学校生活や将来に活かしていきたいように努めていきたいと思えます。

## 研修を終えて



田中 大裕

私は、3月10日から10日間、馬場牧場を研修させて頂きました。

最初は、広大な酪農地帯や牧場の数、牛の数などに驚きながらも、牧場で研修するの不安でした。しかしその不安は最初だけで、馬場さんの家族の明るい対応ですぐに無くなりました。研修期間中に様々な酪農



関係の仕事や機械を見るこ  
とが出来ました。最初に見  
ることが出来たのは削蹄の  
仕事でした。3人1組で機  
械を使用して削る作業は、  
1頭を5分から10分ほどで  
終わらせる速さで行っていた。  
お話を聞くと、「作業ができ  
るまでには早くて3年はか  
かる」と言われ、驚きのあま  
り言葉が出なかつた。地震  
が発生した時は大丈夫でし  
たか、と聞くと「作業を早め  
に終わらせようと思うくら  
いで、震度4や5は日常的  
に発生するからあまり気に  
しない」と村上さんは  
答えてくれた。



産はとても感動的で、その  
後はわらで体を擦ったりミ  
ルクを飲ませたりして面倒  
を見ました。ミルクを飲む  
子牛の顔は、とてもかわい  
くて癒されました。2日後  
に育成牧場に送った時は少  
し名残惜しくも思いました  
が、成牛になった姿が待ち  
遠しい思いもあり、さほど  
辛くはなかつた。

14日に訪れた小西牧場は、  
40頭が入ることが出来るロ  
ーターパーラーがあり、  
お昼前に訪れたので作業は  
見ることが出来なかつたが、  
関東では見る機会が無いの  
で、とても勉強になった。  
研修期間中には人工授精  
師の作業を手伝うこともあ  
りました。手伝いと言っても  
尻尾を持つことしか出来ま  
せんが、種を付けるか確認  
したり、実際に種を付ける  
場面を間近で見れただけ  
もとても参考になりました。  
短い研修期間で様々な酪  
農に関係する職種を見たり  
聞いたりしてきました。また、  
職業以外にも東北地方太平  
洋沖地震で影響を受けた酪  
農家や工場の情報等も多く  
聞きました。大変な時に研  
修に来てしまったと思うこ  
ともありましたが、それで  
も北海道の酪農を体験して  
良かったと思うほどの経験  
をしました。  
これも中春別農業協同組  
合のみなさんや、馬場牧場  
の家族のみなさん、見学さ  
せて頂いた他の牧場や業者  
のみなさんのおかげと思い  
この場を借りて御礼申し上  
げます。ありがとうございます  
ました。

## 4月20日ミルク王国オープン



4月20日にミルク王国の営業を開始します。別海  
町の牛乳をふんだんに使ったソフトクリームで、当地  
区の牛乳も使用されています。『甘すぎないサッパリ  
とした味』とお年寄りから子どもまで広く好評いた  
だいております。

種類はソフトクリーム・サンデー・アイスクリーム・  
シェイクなど豊富なメニューを取り揃えております。

これから桜も咲き、ソフトクリームの美味しい季節  
が到来します。お近くをお通り際にはお気軽にお立  
ち寄りいただき、自慢のソフトクリームの味をぜひご  
賞味下さい。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



- 営業期間 4月20日～10月上旬を予定
- 営業時間 4月～5月・9月～10月 午前10時から午後5時  
6月～8月 午前10時から午後6時
- 毎週木曜日は機械洗浄のため通常営業時間より1時間早く閉店となりますのでご了承ください。



# わが家のアイドル



豊原地区

父・花岡芳征さん 母・桂さん  
 長男・征吾(せいご)君(7歳)  
 二男・高郎(たかあき)君(5歳)  
 長女・さちちゃん(3歳)  
 二女・ももちゃん(2歳)

とにかく元気いっぱい、はちきれんばかりの明るさの花岡家です

今月のアイドルは豊原地区の花岡さん宅を訪問し、小学校と保育園がお休みでご家族お揃いのところ取材しました。

まず、最初にドアを開けて待ち構えていたのが、長女のさちちゃんと次女のももちゃんです。靴を並べて遊んでいたそうで、「こんにちは！」と元気いっぱいに迎えてくれました。こんにちは！とどうぞ上がってください」と

お父さんの芳征さん、横にはお母さんの桂さん。「お邪魔します」とリビングへ行く。次は長男の征吾くん、二男の高郎くんが迎えてくれました。お家は1月に建てたばかりで、毎日、家族全員が揃う食卓の壁には家族全員の名前と手形が押ししてありました。花岡家は明るい家、とにかく元気いっぱい。初対面の人でもどんどん話かけてくれるのが第一印象

でした。

花岡家の長男はこの春、小学2年生になったばかりの征吾君です。工作や絵を書くことが得意で実験や物を作るのが好きです。ペットボトルやビニールテープで作ったつりの仕掛けを見せられ、「春になったら小学校の川で魚を釣るんだよ」と話してくれました。お父さん、お母さんがいない時にはおにぎりを作ってくれたりと兄弟を支えている一番頼りになるお兄ちゃんです。

兄弟の中で一番優しいのが高郎くん。面倒見がよく妹たちと遊んでいます。当日もたくさんの質問に答えてくれ、仮面ライダーオーズが好きで変身の仕方を見せてくれたり、ベイブレードというコマが好きで、大事にしているコマを実際にやって見せてくれました。男の子らしくて元気いっぱいなのも高郎くんです。

長女のさちちゃんは「最近、お姉さんぽくなってきました。つかり者です」とお母さん。おもちやで遊んだり、プリキュアの歌を歌ったり踊ったりするのが大好きです。

二女のももちゃんは花岡家の末っ子、いろんなことに

興味津々です。飼犬のアタに抱きつき怖いもの知らずで、「この調子で牛にも近づいていくんです」とお母さん。食べることや外を散歩するのが好きな女の子です。「兄弟が4人になって、末っ子のももちゃんが大きくなると男同士の喧嘩、女同士の喧嘩が同時に始まりました」と話すお母さん。喧嘩も起こりませんが兄弟みんなでゲームをしたりDVDを見たりと仲良く過ごしています。

みんなの名前はお父さん、お母さんが考え、征吾くんはお父さん、お爺ちゃんの名前「征」の一字をとり「自分の道を切り開いて進んでいってほしい」という意味を込めて、高郎くんは「大きな山のようにどんと構えてみんなに慕われるようになってほしい」。さちちゃんは「幸せになってほしい」、ももちゃんは「3月生まれ女の子だったので」と名前の意味を教えてくださいました。最後に子供たちへ「健康第一でほびのびすくすくと育ててほしいです」とお父さん、お母さんの思いをお聞きすることができました。



# 北海道酪農検定検査協会を視察研修

1月から始まりました第3期みらい塾が3月2日に酪農検定検査協会で行われ、普段なかなか伺う事ができない話や、建物内の施設や機械の説明を丁寧に行っていただきました。なお、今回初めてを試みとして「バルク乳検定クイズ」を実施しました。内容は、6人の受講生自らの農場のバルククーラーから検体サンプルを採取してもらい、検査協会で①脂肪率②乳タンパク③乳糖及び灰分率④無脂固形分率⑤MUN⑥FPD⑦体細胞の7項目について検査してもらい、その結果の数値と2月中に検査を実施した各7項目の結果(集乳旬報)で、自分の農場の牛乳がどれかを当てるというクイズです。「普段、体細胞しか見ないからなあ〜」2月の結果と似た数値のものがない」と皆、悩みながら予想していました。正解者は、なんと1人だけ体細胞数が1番低い値だった畠山君だけでした。正解発表した後は「なんで普



段の数値と今回の結果の差が出るのだろうか?」と言っ

た受講生の質問に、大塚所長が自ら「バルク乳の攪拌を

3分間行っていないと成分にバラツキが出るのがよくあります」と説明していただき、「あゝ攪拌が甘かったからかあ〜」と盛り上がり!? それぞれ納得した様子でした。「皆さんは集乳旬報で、主に体細胞数を気にしているかと思いますが、それ以外の数値にも目を配ることで牛の体調の変化が現れている場合もあります」という為になるアドバイスをいただきました。これからのみらい塾は、過去に視察を実施していない場所や様々なアイデアを盛り込んだ活動を行ない、受講生の知識や経験を高めていく予定ですので、皆さま温かく見守っててください。



## 第3期みらい塾 受講生の紹介

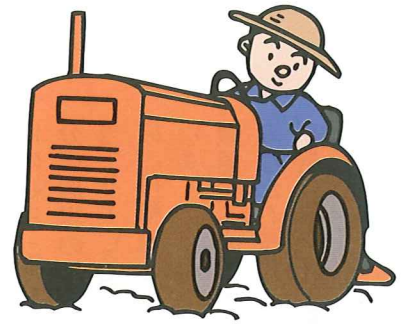
第3期みらい塾の受講生を毎号で1人ご紹介いたします。最初にご紹介する方は、受講生代表でもあります伊藤孝彦君です。



- ① 名前 伊藤 孝彦
- ② 生年月日 昭和59年7月7日
- ③ みらい塾に応募したキッカケ  
酪農を本格的に勉強したいと思ったから
- ④ 趣味 いろいろな物の観察  
(最近のカメがエサを食べている時を見る)
- ⑤ 好きな言葉 有言実行
- ⑥ 将来の夢 次の代に残すための基礎作り
- ⑦ みなさんに一言 一生懸命頑張ります!

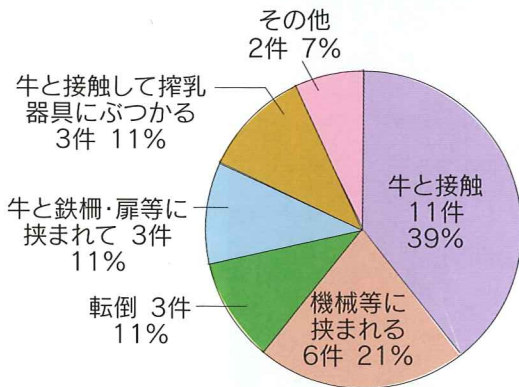


# 農作業事故の防止に 努めましょう!



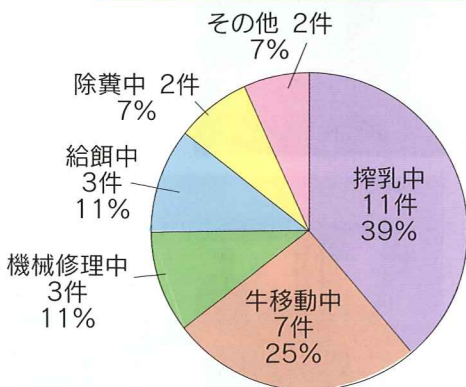
21年度に当農協地区内で発生した労災対応の事故件数は、36件でした。今年度の事故対応件数は3月31日時点で、28件と昨年と比較して7件減少したものの、28件の内、休業補償※注1の請求が6件(内2件が3月31日時点で療養中)で、平均休業日数が54.5日で長期的な療養期間となっております。

グラフ1 労災事故の内容



事故の内容別(グラフ1)で見ると一番多かったのが「牛と接触して負傷した」が11件。2番目が「機械の整備中に挟まれた」が6件でした。事故当時(グラフ2)の作業内容で最も多かったのが、搾乳時が11件。次いで牛の移動中が7件。事故の年代別(グラフ3)は、40代が11件、60代が10件。事故件数の男女比率(グラフ4)については、女性15件、男性13件となりました。ケガに遭った方の平均年齢は、51.2才でした。ケガをした当時の話を伺うと、「普段はパドックに牛

グラフ2 事故当事の作業内容

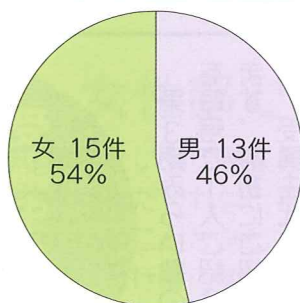


を入れて作業するんだけど、たまたまその時は牛が出ていて体当たりされた」「機械のスイッチが入ったまま修理の作業をしていて指を挟めてしまった」など、いつもの作業工程を忘れていたり、注意を怠ってしまいケガをする場合が多いようです。また「若いころは、こんな事でケガしなかったんだけど」という声も聞きますが、みなさんの体力は、確実に年齢と共に低下し「昔のようにいつまでも」というようにはいきません!

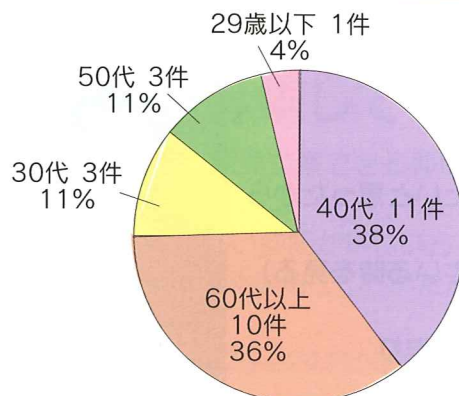
農作業事故を減らすために以下の3つを心がけましょう。

- ① 作業の前に整備や声かけなど等の確認をしっかりと行いましょう。
- ② もし、ケガをしてしまった場合は、まず病院へ行き「作業中にケガをしましたが。」と伝えましょう。(労災事故の場合は、治療費がかかります)
- ③ 作業時のケガで通院したら、経営相談課 76-2241までご連絡下さい。

グラフ4 事故件数 男女の比率



グラフ3 年代別の事故件数



堆肥散布や牧草収穫など繁忙期を迎えますが、休息をとりながら事故の無いよう十分に気をつけてください。

※注1 ケガによって療養のため入院や安静の必要があり、労働する事ができない日数が4日以上となった方への補償制度。





平成23年3月31日現在

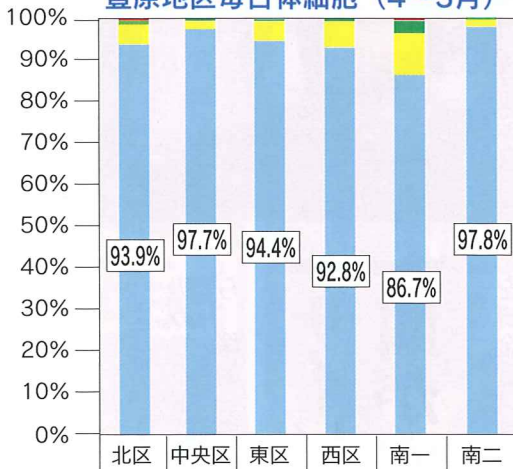
# 生乳課情報

生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故……JA中春別発生件数 3件 管内では 15件の発生です。
- 生菌による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では 0件の発生です。
- 異物混入、異臭、加水による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では異常風味で 1件の発生です。

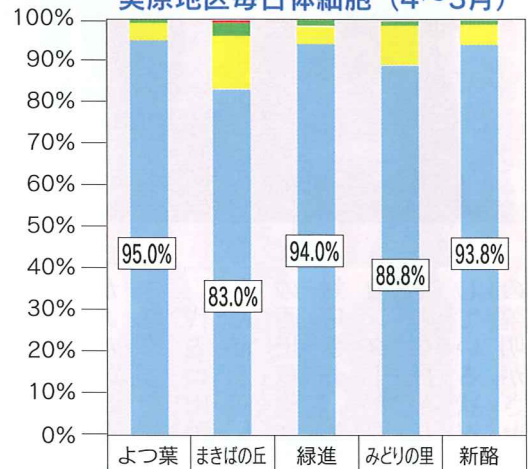
PLテスターを用いて乳汁の凝集、色調などで  
乳房炎の早期発見に続けましょう。

豊原地区毎日々細胞 (4~3月)



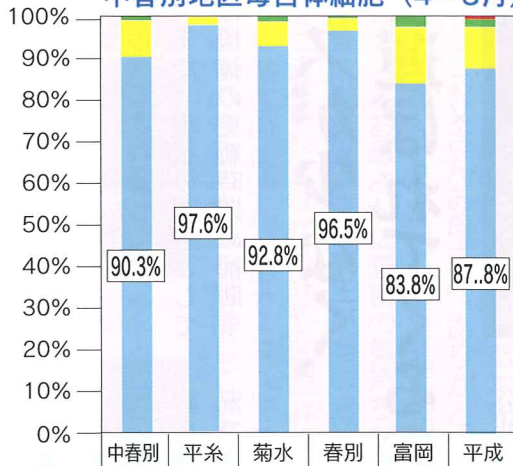
50.5万以上	0.5%	0.2%	0.1%	0.1%	0.4%	0.0%
40.5~50.4	0.9%	0.2%	0.9%	1.0%	2.9%	0.5%
30.5~40.4	4.7%	1.9%	4.6%	6.1%	10.0%	1.7%
30.4万以下	93.9%	97.7%	94.4%	92.8%	86.7%	97.8%

美原地区毎日々細胞 (4~3月)



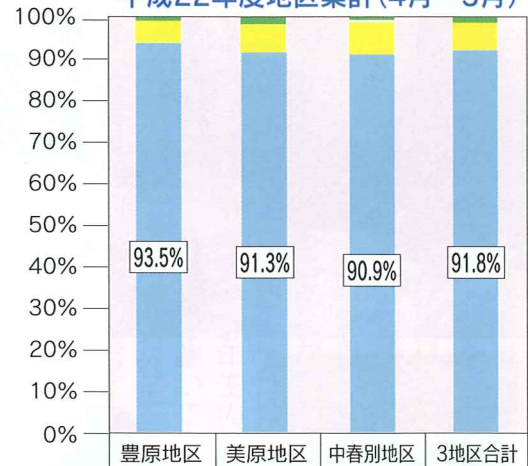
50.5万以上	0.3%	1.1%	0.3%	0.2%	0.2%
40.5~50.4	0.5%	3.1%	1.3%	1.6%	0.7%
30.5~40.4	4.2%	12.8%	4.4%	9.4%	5.3%
30.4万以下	95.0%	83.0%	94.0%	88.8%	93.8%

中春別地区毎日々細胞 (4~3月)



50.5万以上	0.1%	0.1%	0.4%	0.0%	0.4%	0.6%
40.5~50.4	1.0%	0.1%	1.3%	0.5%	2.3%	1.8%
30.5~40.4	8.6%	2.2%	5.5%	3.0%	13.5%	9.8%
30.4万以下	90.3%	97.6%	92.8%	96.5%	83.8%	87.8%

平成22年度地区集計 (4月~3月)



50.5万以上	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%
40.5~50.4	1.1%	1.3%	1.3%	1.3%
30.5~40.4	5.2%	7.1%	7.5%	6.6%
30.4万以下	93.5%	91.3%	90.9%	91.8%



3月18日、北海道農政部農業経営課・菅原農業金融担当課長、今井主査(災害金融)が美原地区の合同会社グリーンコンプリートサービスを視察しました。



根室振興局産業振興部農務課 得地課長、大野係長、山本主事が随行されました。

北海道農政部農業経営課として、農業改良資金とスーパーL資金を合わせて使ったTMRセンター設立は、初めての試みだったことから、稼働している状況など

た。

メリットとして、サイレージの腐敗によるロスが想像以上に無いことと、家族が病気をしても、餌が運ばれてくるので安心できるなどの話をされました。

業などの要望、草地更新の事業費が縮減されており、事業費をもっと確保してほしいと山田代表から要望がされました。

昨年の草地収穫作業日数は、7件で449・4haが約10日程度かかっている状況であり、得地課長からは、

## サイレージのロスが少なく、餌が安定して運ばれてくるので安心

を資金貸付側の観点からどのような状況で稼働しているのか、課題としてどのようなことがあるのかを見聞されました。

代表の山田光男さんとTMR部長の西川寛稔さんが対応され、TMRセンター概要や昨年の7月から稼働している状況などの説明がされました。



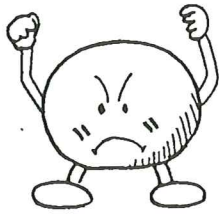
公社事業ではあるがコントラとして外貨を稼いでも良いという話があり活発な意見交換がされておりました。



# MILK COOKING PART ⑦



## ミルク串だんご



上新粉-----100g  
 牛乳(熱くする)----100cc  
 白玉粉-----50g  
 牛乳-----100cc

片栗粉-----大さじ1  
 水-----100cc  
 ★ 砂糖-----55g  
 正油-----大さじ2

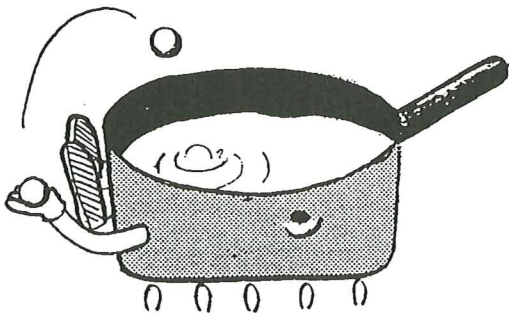
**1** 白玉粉は牛乳を加えてよく混ぜ  
上新粉は熱くした牛乳でよくこねる。



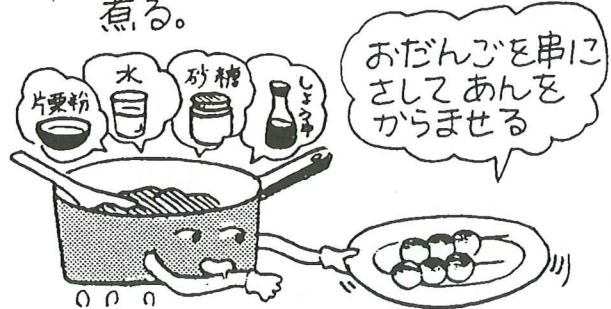
**2** 白玉粉と上新粉をひとまとめにし、牛乳を加えながら目たぶ位の柔らかさになるようにこねる。



**3** おだんごを小さく丸め、たっぷり  
の湯でゆでる。(浮いてきたら良!)



**4** ★の材料を全部合わせてから  
弱火にかけ、とろりとするまで  
煮る。



## スパイス Part 1

- フェンネル.....魚のハーブともいわれ、魚料理によく使われます。多年草の種を乾燥させたもの。ほろ苦さと刺激のある香りがやみつきに。
- シナモン.....さわやかで甘い肉桂の樹皮。昔からニッキといわれお菓子には欠かせないものでした。欧米ではパウダーをりんごのお菓子によく使います。
- ローリエ.....清涼感のある香りが特徴。葉に割れめを入れてから、カレーシチューなどに加えるといっそう香りが立ちます。煮あざると苦くなります。



**議案**

1. 平成23年度役員と組合の取引基準について
2. 固定資産の処分について
3. 平成23年度職員給料表の改定について
4. 平成23年度信用供与等の限度額の設定について
5. 出資口数の減少について
6. 平成22年度自己査定に係る債務者区分判定方法について
7. 農地信託規程の改正について
8. 平成23年度営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
9. 平成23年度畜産担い手育成総合整備事業(再編基盤型)に係る事業計画について
10. 平成23年度草地生産向上対策事業(農協:糞尿利活用草地整備事業)の実施について
11. リース契約について
12. クミカン取引名義の変更について
13. 平成22年度期末賞与の支給について
14. 平成23年度職員給与の定期昇給について
15. 太平洋沖地震被災地への義援金支払について

以上原案どおり承認

**報告事項**

1. 職員の退職について
2. 組合員加入について
3. 組合員の脱退予告について
4. 平成22年度12月末定期監査報告について
5. 平成23年度貸付金利率の最高限度額の設定について
6. 固定資産の所管替え及び固定資産の取得について
7. 配合飼料価格情勢について
8. 平成22年度決算棚卸実査について
9. 平成23年度理事報酬額の諮問に対する答申について
10. 平成23年度(前期)JA中春別選定種雄牛について
11. 平成22年度2月末営農生産関連実績について
12. 平成22年度畜産担い手育成総合整備事業(再編基盤型)に係る自己負担金の精算について
13. 平成22年度草地生産性向上対策事業(農協:糞尿利活用草地整備事業)に係る自己負担金の精算について
14. 平成22年度資源循環型酪農推進事業に係る精算払いについて

**協議事項**

地区別組合員懇談会の意見について







# JA中春別オリジナル餃子が 完成しました!

皮は手作り、もちもち感があり、具は地元の食材を使用。好評販売中です!

地域特産乳製品需要拡大事業として、購買部が取り組んできました。当地域内で生産された牛乳を使用したバター・低脂肪牛乳の製造販売が、昨年12月より(株)別海乳業興社で始まり売れ行きも順調です。

今回の餃子は地元特産生乳(低脂肪牛乳)の新たな販路拡大、牛乳消費拡大を目的として考案された商品で、具には安心安全な地元食材を使用し、皮には低脂肪乳を練り込み、もちもち感をもたせたオリジナル餃子が完成しました。

製造には、中標津町「佐藤さんちの餃子店」で手作りして仕上げ、こだわりを持った商品です。3月3日のオープンングセールでは店内で試食販売を行い、皮が手作りで厚くもちもち感と、水餃子にしても皮が破れないなど、大変好評で商品すべてで完売しました。

今後、冷凍出荷できることから牛肉・乳製品とのギフト化も検討しており、地域特産品として販売を計画しています。

## 5月31日は自動車税の納期限です

自動車税は、4月1日現在で運輸支局に登録されている自動車の、名義人(所有者)にかかる税金です。今年の納期限は5月31日です。

また、納めた時の「納税証明書」は車検時に必要になります。車検証と一緒に大切に保管しましょう。

**お問い合わせ先、納税に関するご相談は**

根室振興局 税務課納税課係 ☎(0153)24-5466(納税課納税係直通)

### 2月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支乳	払	前	年	差
				価		期	期	
乳	脂肪分	735.543		29.64		30.63		-0.99
無	脂乳固形分	463.582		40.73		41.80		-1.07
補	給金	4.8438		4.84		4.83		0.01
計画チーズ奨励金								
乳質単価	生菌数	ランク1	2	3.73	3.74	0.01		
		ランク2	0					
		ランク3	-3					
	体細胞数	ランク1	2	284,475,900.5kg				
		ランク2	1	5,788,348.4kg				
		ランク3	-2	179,775.5kg				
合計				78.94		81.00		-2.06

### 2月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg) %
乳脂肪分①	29円64銭
無脂乳固形分②	40円73銭
補給金③	4円84銭
チーズ奨励金④	
脂肪率	
全道	4.03%
農協	4.12%
無脂固形分率	
全道	8.79%
農協	8.76%
成分乳価	全道 75円21銭
①+②+③+④=⑤	農協 75円76銭
乳質乳価	全道 3円73銭
⑥	農協 3円78銭
乳代合計	全道 78円94銭
	農協 79円54銭
⑤+⑥	差異 60銭





楽しい家族と一緒に  
チワワ  
荒さん家のハクちゃん

中春別地区・荒 康夫さん家

名前 ハクちゃん 性別 メス 種類 チワワ犬

ばっちりのカメラ目線でかわいくポーズをとってくれたのは中春別地区・荒さんのお宅のハクです。

- ★飼い始めたきっかけ 親戚の家に生まれたハクを引き取り飼い始めました。
- ★名前の由来 ハクがこの家に来て間もないころは鳴き声が白鳥みたいだったので、娘の千尋さんと息子の楓真君が決めてつけました。
- ★好きなこと(もの)はなんですか? 肉・ささみジャーキー・大根・キャベツ・ピーマン。  
少し変わっていますが、野菜はすべて生で食べます!
- ★得意技 おねだりが得意!「くんくん」言っておねだりしてくれること。
- ★最後に一言 最近では1歳になるお孫さんの心愛ちゃんに、大好きな久美子さんを取られてしまうのが悩みです。

編集後記

▼春の日差しが心地よく、日増しに暖かくなってきました。  
▼3月11日に東北地方を襲った太平洋沖地震。地震や津波の被害、福島原発事故は日本中を不安にさせています。中春別小学校では卒業式の冒頭で今回の大地震の被災者に黙とうをささげ、被災地の早い復興を祈る場面が見受けられました。農協では募金箱を置き、JAグループ北海道「太平洋沖地震災害」支援対策本部を通じて被災地の災害対策本部へ寄託致します。被災地の皆様には深くお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。



アドレス <http://www.ja-nks.jp>